



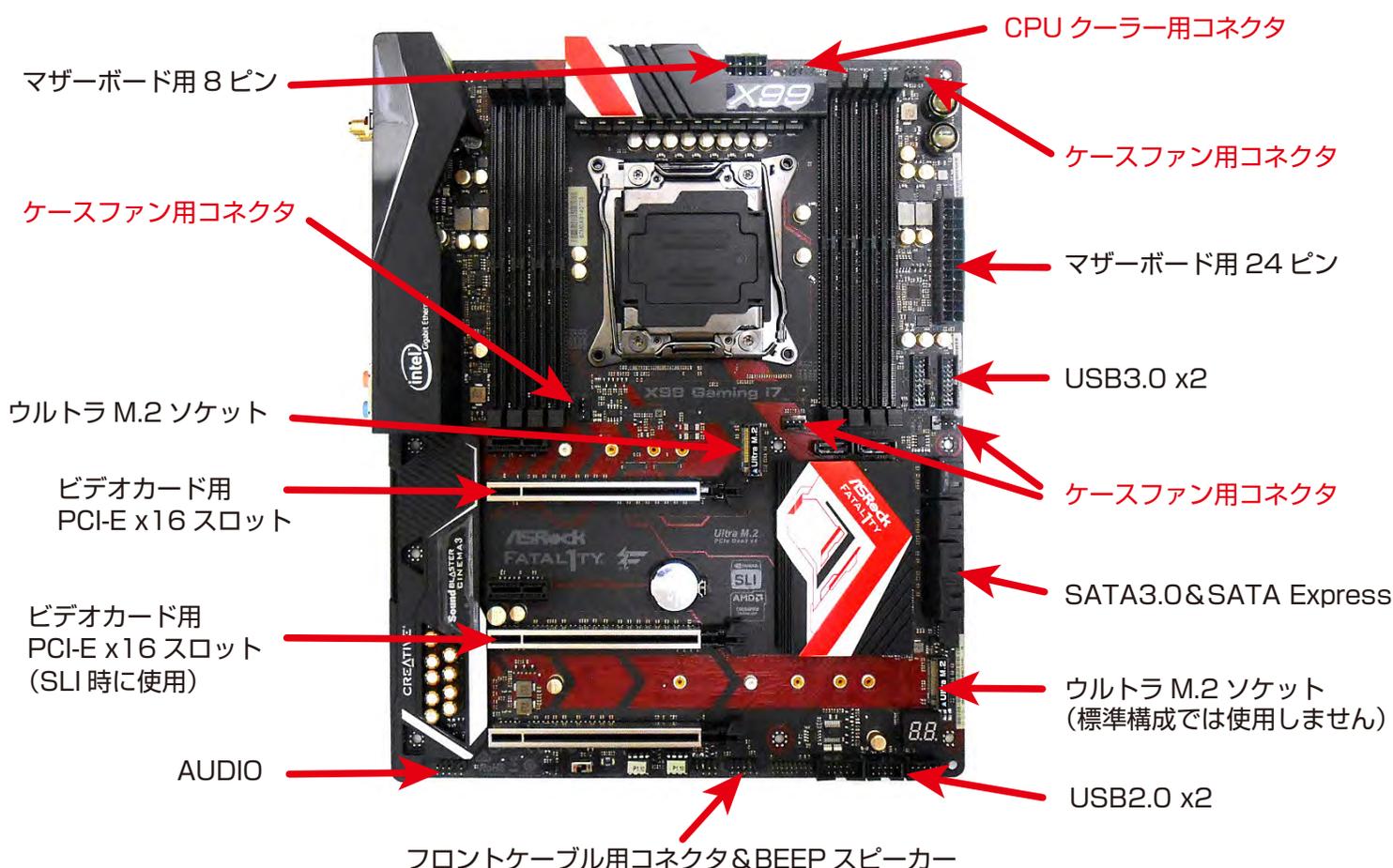
# 自作セット パーツの犬モデル President 詳細マニュアル



この補足マニュアルでは、パーツの犬モデル President で使用するマザーボード上のコネクタや、組み立て時におけるモデル特有の注意点を解説します。  
パソコンの基本的な製作方法は、「自作パソコン 組立マニュアル」をご覧ください。  
[http://www.dospara.co.jp/5info/img/lp\\_jisaku/jisaku\\_manual\\_150326.pdf](http://www.dospara.co.jp/5info/img/lp_jisaku/jisaku_manual_150326.pdf)

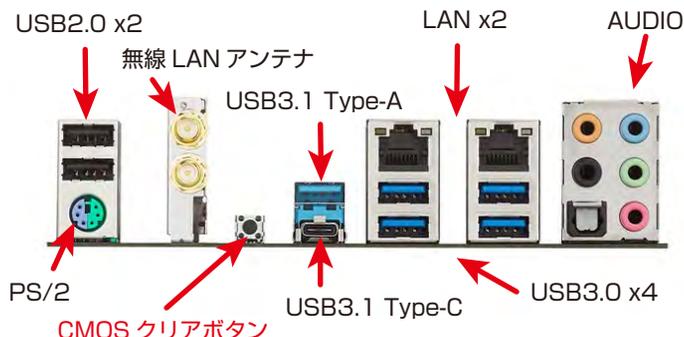
## マザーボード (X99 Professional Gaming i7) の各コネクタ

- ※マザーボード付属の SATA ケーブルは 4 本です。
- ※標準ケース「CC-901 1063-WW」に BEEP スピーカーは付属しません。
- ※メモリが 4 本の場合、CPU ソケットの左右に 2 本ずつ取り付けます。  
取り付けるスロットは、CPU に近い側から 2・4 番目です。
- ※M.2 SSD の固定用ネジは、マザーボード・SSD 両方に付属しています。どちらを使用しても問題ありません。
- ※ビデオカードを増設して SLI 構成にした場合、メインのビデオカードは下段スロット側になります。
- ※標準ケース「CC-901 1063-WW」の搭載ファン x3、CPU クーラー、増設ファン、合計 5 つのケーブルはマザーボード上のコネクタではなく、ケースのファンコントローラーに接続します。

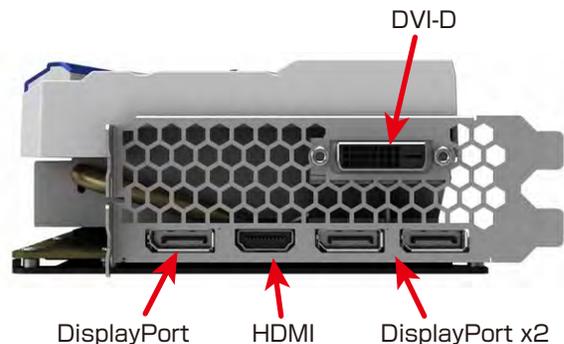


## 背面の出力端子

### ■マザーボード



### ■GTX1080



※CMOS クリアボタンを押すと、UEFI (BIOS) 設定が初期化されますのでご注意ください。

## 組み立て時の注意点

### 1. CPUの取り付け方



- ① 左レバーの**赤枠**部分を押しながら右にスライドさせて外し、持ち上げます。
- ② 右レバーの**青枠**部分を押しながら左にスライドさせて外し、持ち上げます。
- ③ 左右のレバーを外したら、CPUソケットのカバーを持ち上げて開けてください。
- ④⑤ CPUの**赤枠**部分をつまみながら慎重に取り付けます。CPUの向きは、▲マークを合わせるようにしてください。
- ⑥ カバーを閉じ、レバーを戻します。レバーは外す時とは逆の順番（**青→赤**）で固定します。

### 2. CPUクーラーの取り付け方



- ① クーラー取り付け前に、このシールを必ず剥がしてください。
- ② クーラーに固定する金具は、この曲がっている物です。2種類ありますが、**赤枠**側の金具を使用します。
- ③ クーラーの方向はこのようになります。クーラーを置く前に、CPUにグリスを塗ることを忘れないでください。なお、SSDは**緑枠**の位置に取り付けます。
- ④ この工具でクーラーのナットをマザーボードに固定します。主に**赤枠**の工具を使うと便利です。
- ⑤ 最初はこの位置のナットを固定します。④の工具をかぶせて指で少し回しましょう。完全に回しきると反対側のナットが大きく浮き、固定に力がかかる為、軽く固定する程度で十分です。なお、素手だとクーラーのフィン等で手を切る恐れがありますので、必ず付属の手袋をしてください。
- ⑥ 番号の順に固定していきます。4カ所を軽く固定したら、今度は順番どおりに最後までナットを締めてください。

### 3.メモリの取り付け方



クーラーの下になるメモリスロットは、この隙間を通して入れ、内部でメモリを立てて挿しこみます。スロットに挿す時は、両端を同時に押し込むようにしてください。

### 4.増設ファンの取り付け場所

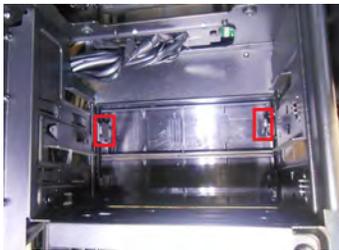


増設の12cmファンは、天板の中央に風向きが上になるように付けると良いでしょう。ここでは熱源に近いフレーム下に付けていますが、上でも問題はありません。

# 自作セット パーツの犬モデル President 詳細マニュアル



## 5. 光学ドライブの取り付け



5インチベイのカバーは、ケース内側から**赤枠**部分の爪を内側に曲げながら、カバーを外に押し出します。爪は非常に柔らかいので、力を入れる必要はありません。



カバーを外したら、**赤枠**部分の「PUSH」と書かれているロックを引いて外し、外側からBDドライブを押し込みます。

## 6. SATAケーブルの接続場所



光学ドライブ用の SATA ケーブルは**赤枠**部分、HDD等を追加した場合は、**青、緑、黄**の順に接続します。

## 7. ケーブルマネジメントについて



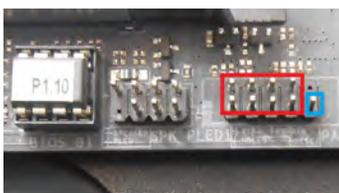
標準では**赤枠**の位置から各種ケーブルがケース内に引き込まれています。USB2.0、AUDIO、フロントパネル用ケーブルを残し、ファンコントローラやUSB3.0のケーブルは裏側に出しましょう。なお、背面ファンとCPUクーラーのケーブルは**青枠**、増設ファンのケーブルは**緑枠**から裏側に出します。

## 8. 電源の使用ケーブル

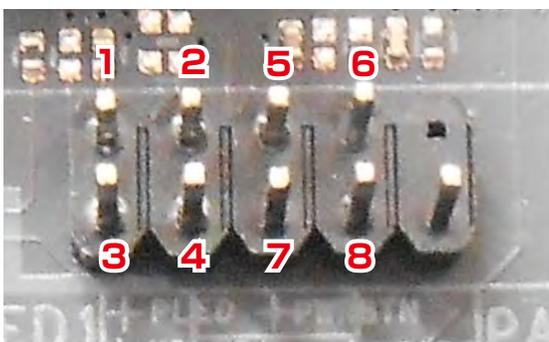


標準構成で使用するケーブルは以下の通りです。  
電源側のコネクタは接続位置が決まっていますのでご注意ください。  
マザーボード用 24ピンケーブル (**赤枠**)  
マザーボード用 8ピンケーブル (**青枠**)・VGA用 PCI-E ケーブル (**青枠**)  
SATA ケーブル (光学&ファンコントローラへの電源供給用：**緑枠**)  
SATA ケーブル (HDD用：**緑枠**)

## 9. フロントパネル用ケーブルの配線



フロントパネル用ケーブルは、マザーボード下の**赤枠**部分のピンに接続します。  
**青枠**のピンは使いませんのでご注意ください。  
各ケーブルは、下写真の番号を合わせる様に接続してください。  
5・6、及び7・8は、左右が逆でも問題ありません。



# 自作セット パーツの犬モデル President 詳細マニュアル



## UEFI の基本設定

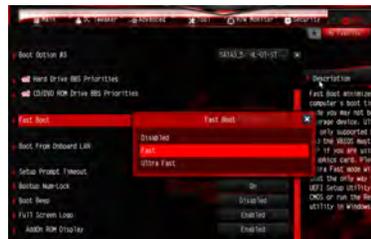
UEFI 画面に入るには、PC 起動時に DEL を何度か押し続けてください。  
この設定は、Windows 8.1/10 64bit 向けです。  
Windows 7 や、8.1/10 32bit の場合、CSM・FastBoot・SecureBoot 設定は不要です。

### 1. 時刻設定&モード切替



最初はこの EZ MODE で表示されます。初期設定時は時刻が日本時間ではありません。時計部分をクリックして修正してください。その後 F6 キーを押して Advanced Mode に切り替えてください。

### 2.CSM・Fast Boot 設定



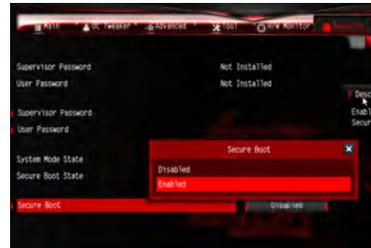
「Boot」タブでは、「CSM」を「Disable」に、「FastBoot」を「Fast」 or 「UltraFast」にすると、OS の起動が高速になります。「UltraFast」の場合、高速すぎて起動時に DEL を押して再度 UEFI に入るのが困難になりますのでご注意ください。

### 3. Boot 順番設定



「Boot Option Priorities」では、OS のディスクを入れている DVD ドライブ (UEFI: 光学ドライブ) を #1 にすると、PC 再起動時に OS 用ディスクをすぐ読み込みます。ただし、起動時に F11 キーを押すと起動ドライブを指定でき、OS インストール後には #1 が「WindowsBoot Manager」に変わってしまいますので、変更しなくても問題はありません。

### 4. Secure Boot 設定



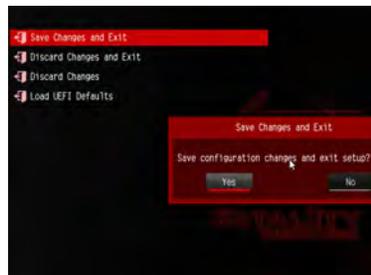
「Security」タブの「Secure Boot」を「Enable」にすると、下に Key 状態が表示されます。「Clear Secure Boot Keys」になるようにしてください。

### 5. メモリ設定



「OC Tweaker」タブの「DRAM Configuration」に進み、「Load XMP Setting」を「XMP 2.0 Profile 1」に設定してください。

### 6. 設定保存と再起動



その他設定はデフォルトのまま  
で問題ありません。  
最後に「Exit」の「SaveChanges and Exit」で「Yes」をクリックすれば、設定を保存して再起動します。



●モデル President 完成画像です。  
完成後の OS やドライバインストール方法は、「自作パソコン組立マニュアル」をご覧ください。

#### ■お困りの際はこちらまで

パソコンの故障修理・診断・増設はおまかせ  
困ったときのドスパラサポート  
<http://pc119.dospara.co.jp/>



#### ■ご購入・お問合せはこちら

ドスパラ通販サイト  
<http://www.dospara.co.jp/>

